

あなたも考えよう！ 湯沢市の公共施設



湯沢市 総務部 企画課



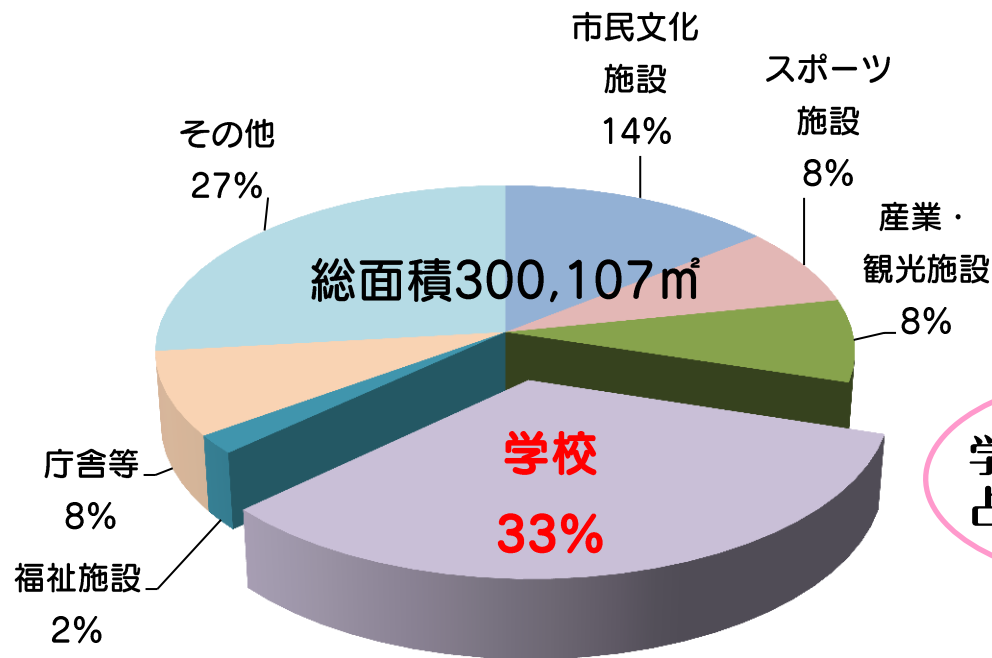
公共施設って何だろう？

公共施設といえば、どんな施設が思い浮かびますか？

学校、市役所、体育館など、市民の皆さんが使うことのできる施設をいいます。

湯沢市には、**約450の公共施設**があり、総面積は約30万平方メートル（30ha）。

これは、**市内小学校（校舎平均）の80個分**に相当します。



主な建築物

- | | |
|---------|-----------------------|
| 市民文化施設 | ・・・ 地区センター・文化会館・図書館など |
| スポーツ施設 | ・・・ 体育館・野球場など |
| 産業・観光施設 | ・・・ 道の駅・休養施設など |
| 学校 | ・・・ 小学校・学校給食センターなど |
| 福祉施設 | ・・・ 放課後児童クラブ・皆瀬診療所など |
| 庁舎等 | ・・・ 市役所・消防ポンプ格納庫など |
| その他 | ・・・ 市営住宅・浄化センター・倉庫など |

学校が3割以上を占めています。

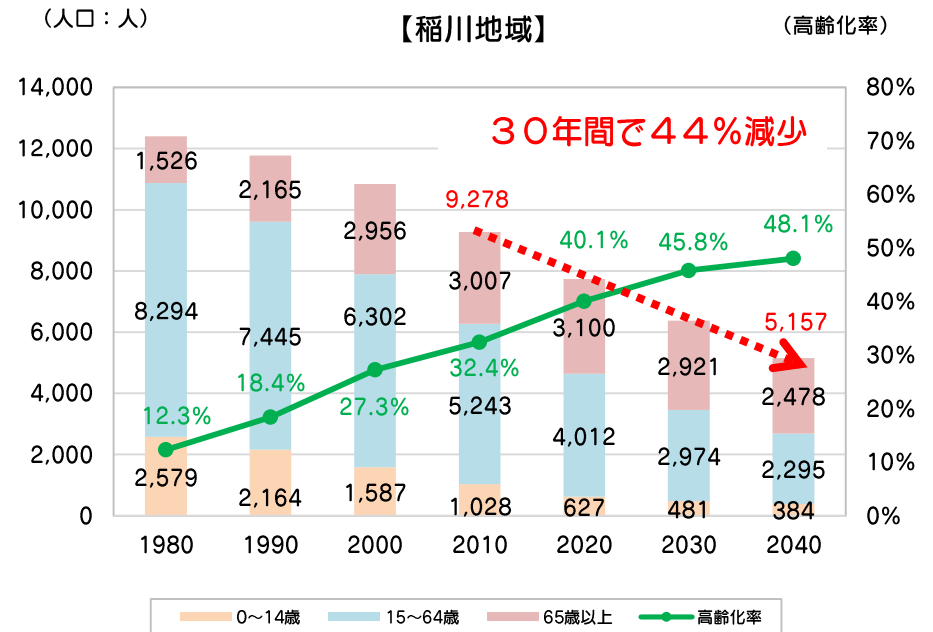
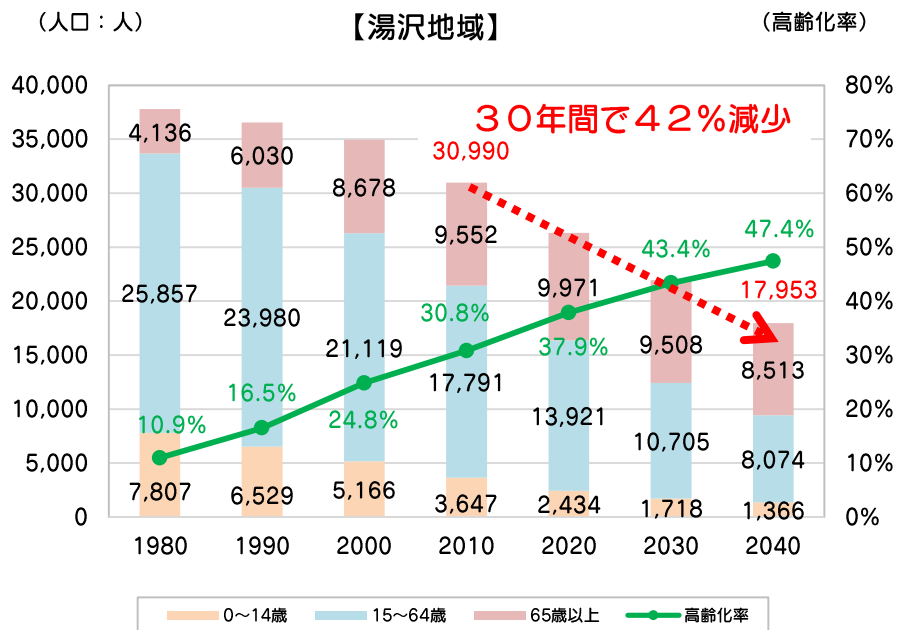




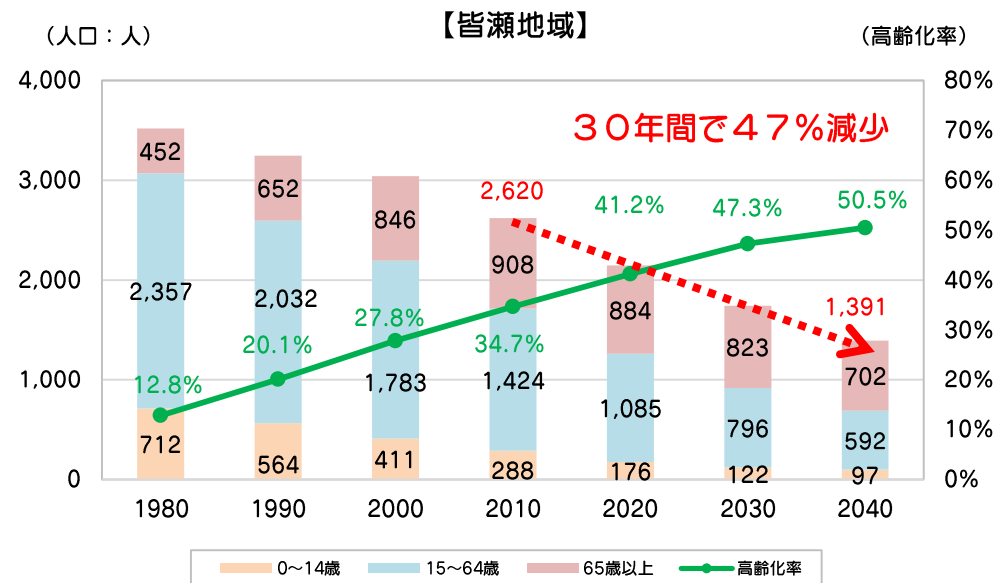
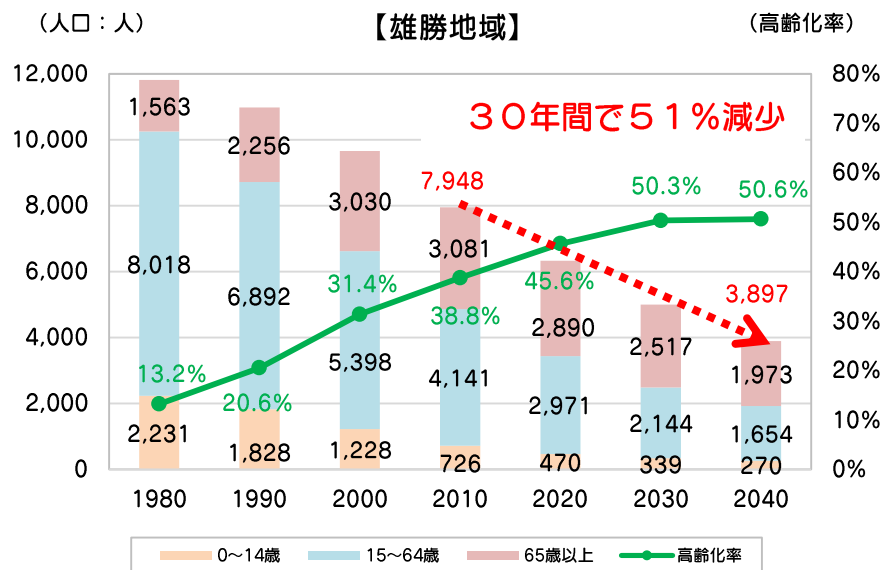
なぜ、公共施設のことを考える必要があるの？

理由1 人口構造の変化により、**需要（ニーズ）**が変化しています

<地域別の人口推移①>



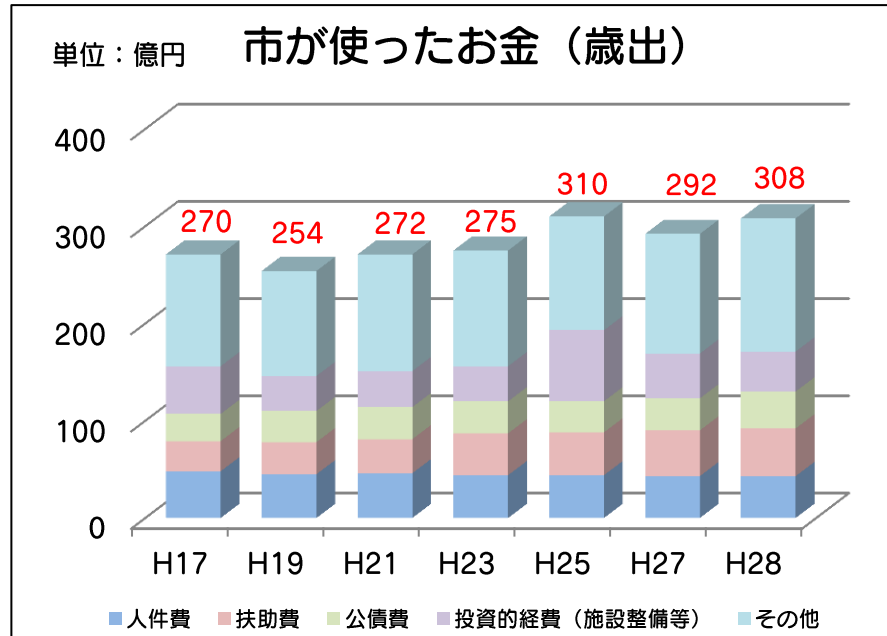
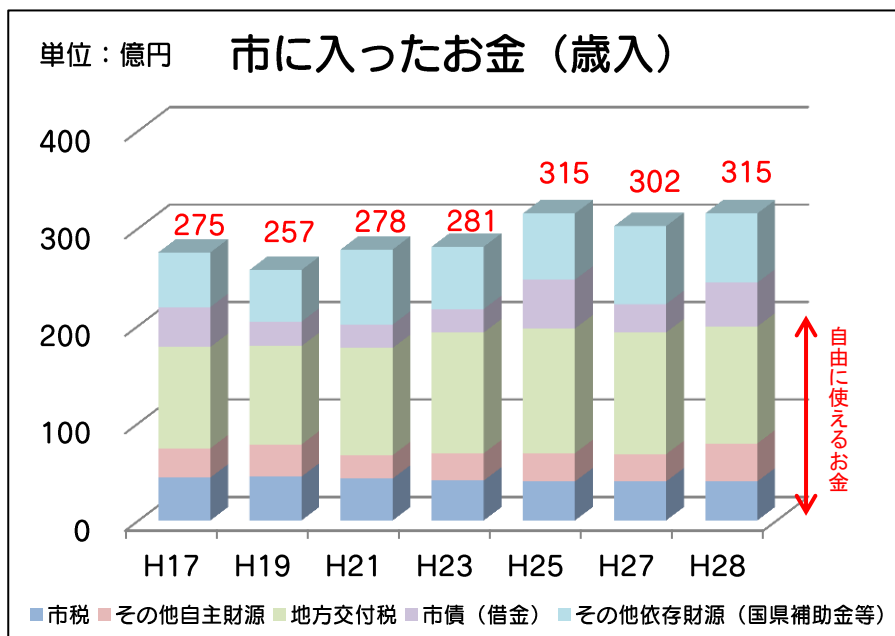
<地域別の人口推移②>



人口が減ると、施設
を利用する人も減っ
ていきそうです。



理由2 市が自由に使えるお金は、ほぼ横ばいです
一方、出ていくお金は上昇傾向です



※自由に使えるお金＝市税＋その他自主財源＋地方交付税

働き盛りの人が減ると、税収も減るんだね。

市税収入は平成17年から11%減少しており、国からの仕送り（地方交付税）は、今後も減少する見込みです。

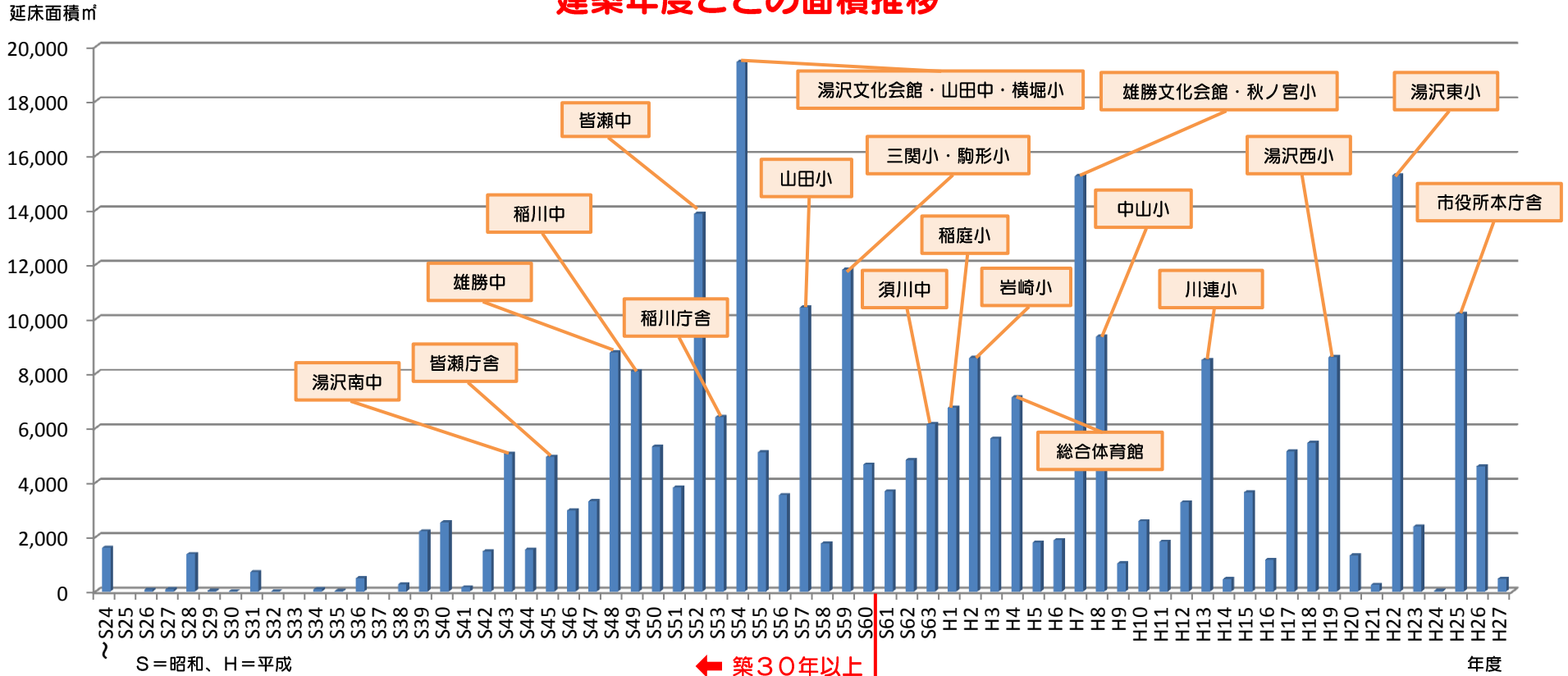
借金の返済（公債費）は平成17年から38%増加しており、福祉のための費用（扶助費）も58%増加しています。

福祉の費用は、今後ますます増えそうだね。

理由3 多くの施設が老朽化しています

高度経済成長期の昭和40年代～50年代に整備した公共施設が50年経過し、老朽化が進んでいます。今後、一斉に改修や建替が必要な時期を迎えます。

建築年度ごとの面積推移



半分の公共施設が築30年を超えているんだね。

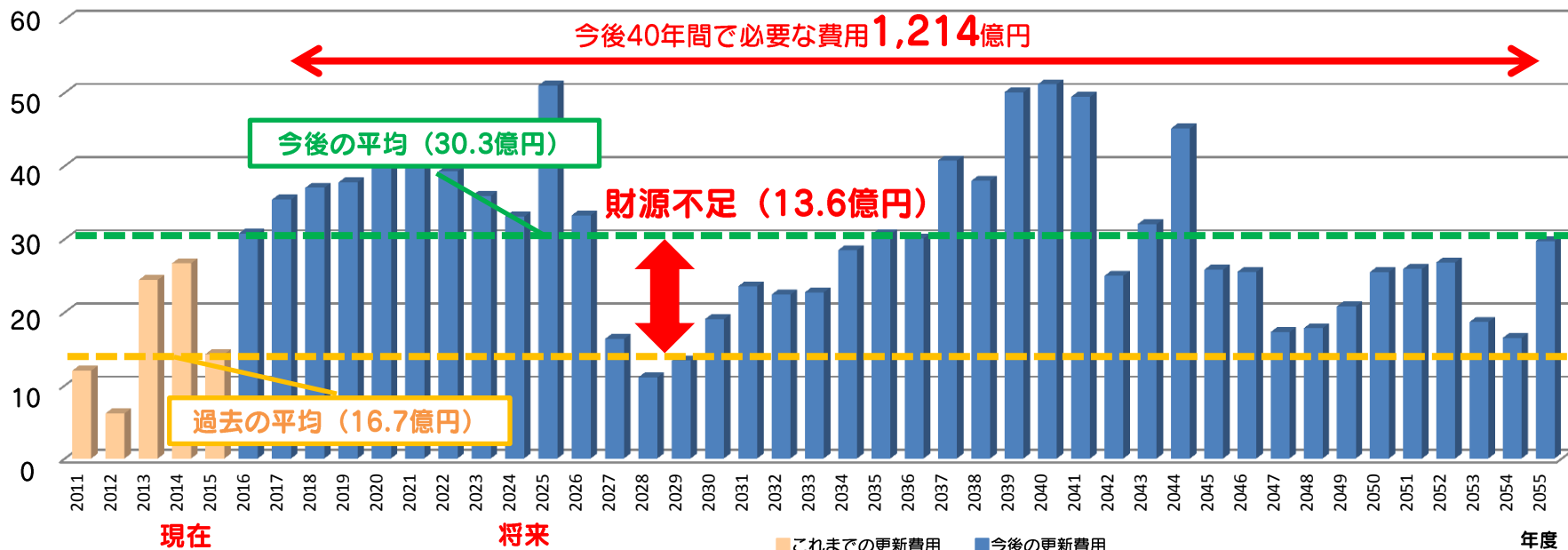
一斉に改修や建替なんてできるのかな。



理由4 改修や建替には多くのお金が必要です

今ある施設をすべて残す場合、現在の1.8倍のお金が必要です。
 全ての施設を将来にわたって維持していくことが非常に難しくなっています。

単位：億円

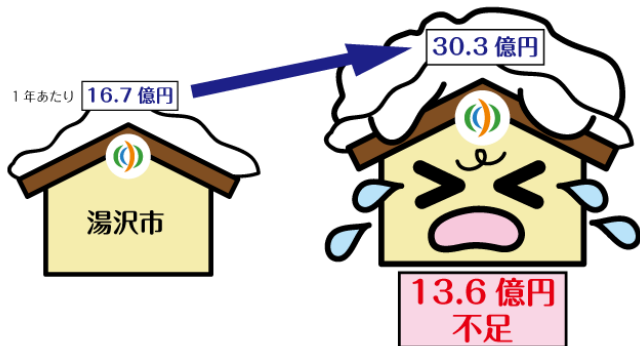


現在
 施設の更新に使っているお金
※過去の実績より

将来
 今後、施設の更新に必要なお金
※既存の施設をそのまま更新する場合

■ これまでの更新費用 ■ 今後の更新費用

年度



お金が足りないとすれば、
 本当に必要な施設を選んで
 いくことが大事になります。



理由5

同じような機能を持つ施設がたくさんあります
しかも、十分に使い切れていない施設があります

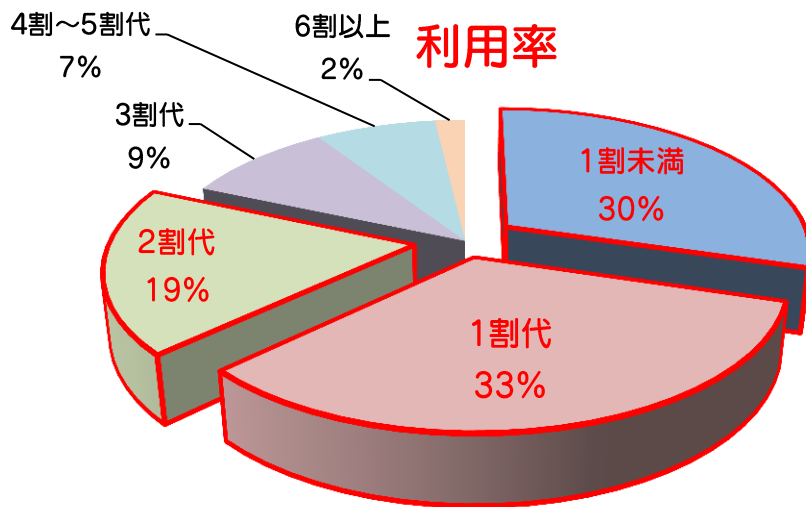
あなたも考えよう！湯沢市の公共施設

①対象者別や目的別に様々な施設を整備してきたため、地域には同じような機能を持った施設がたくさんあります。

公民館、老人憩の家、勤労青少年ホーム、健康管理センター、交流センター・・・
これらは、「会合ができる場所」として機能が重複しています。



②しかも、各施設の会議室などの利用率は、多くの施設で3割を下回っています。



利用率3割未満の施設が、
82%もあるんだね。



人口減少、少子高齢化、
需要（ニーズ）の低下などが
原因と考えられます。



③施設を設置した当時は必要性の高い施設でしたが、現在は需要（ニーズ）も多様化し、建設した当時の**目的とは異なった使い方**をしている場合があります。

例えば 勤労青少年ホーム

目的は「勤労青少年が、その能力を伸ばし、有為な職業人として成長すること」



→現在は、利用者の多くが青少年以外の市民で、会合等に利用

例えば 健康管理センター

目的は「保健活動の場を提供し、健康管理及び健康増進を図ること」



→現在は、地域住民の集会所として利用



造った当時とは、使われ方が変わっている施設があるんだね。





このままだと、どうなるの？

～今ある施設をすべて維持し続ける場合～

選択肢① 何もしない（今までどおりの対応）

→お金がなくなるまで改修や建替を続ける。危険性が高まったら施設閉鎖。

選択肢② 無理な借金を重ねる

→財政が破綻する可能性。無理な借金は子や孫など将来世代の負担に。

選択肢③ 市の他のサービス（施設以外のサービス）をやめる

→施設更新の不足額13億円を毎年埋めるには・・・

例えば、消防費12億円、保育所等の運営支援13億円。これらをやめられるのか・・・。

これまでのまとめ

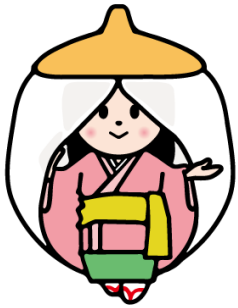
①今ある公共施設をすべて残すことは**非常に難しい**状況です。

②今ある公共施設を将来にわたって残す場合、**市の他のサービスの維持・向上にも影響が及びます。**

③借金をして施設を整備することは可能ですが、その**負担を子や孫などの将来世代に残す**ことになります。

一人ひとりが自分のこととして真剣に考える必要があります。



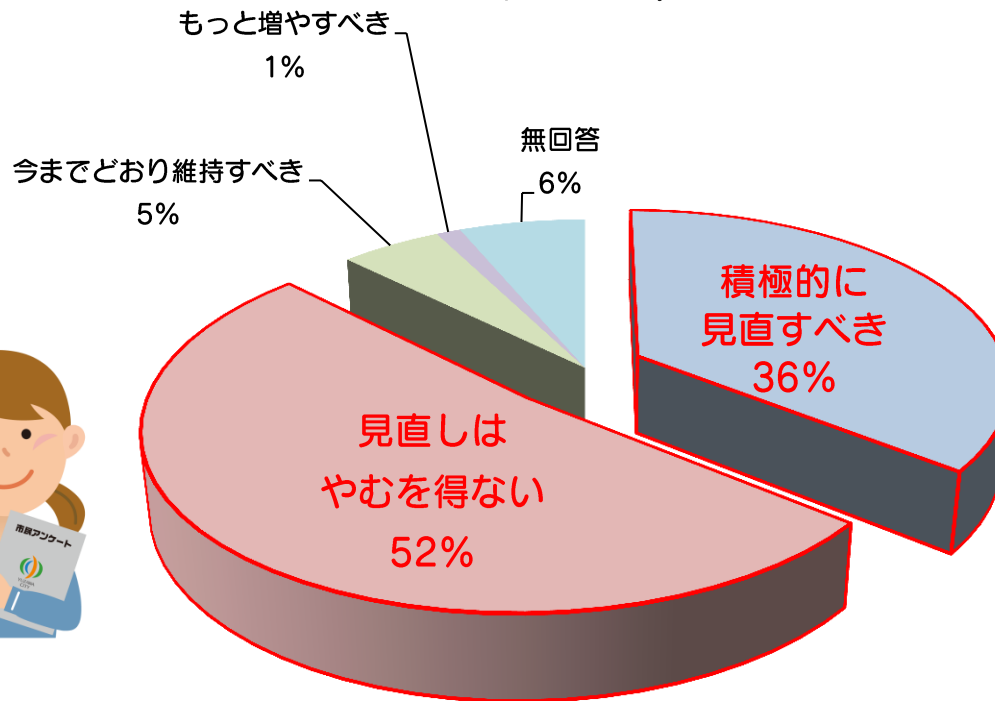


市民アンケートで意見を伺いました。

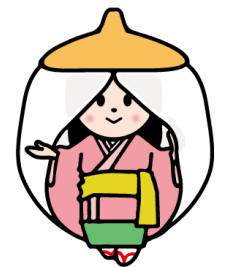
公共施設に関するアンケート調査（平成28年8月実施）
対象：16歳以上の市民1,200人（無作為抽出）

Q 公共施設を見直していくこと（施設数の削減など）について、どのようにお考えですか？

アンケート回答



9割近い人が見直しの
必要性を感じています。





これからどうしていくの？

原則1

公共施設の配置や数量を、身の丈に合った状態に見直します。

他施設との複合化など新たな手法を取り入れながら、施設の配置や数量を適正な状態にして財政負担を縮減します。

原則2

施設は見直しても、市民サービスが低下しないように、代替案を確保します。

「施設」は見直しても、施設の中で行っている「サービス（機能）」が低下しないように、他の施設で実施するなど、代替案を確保します。

原則3

地域全体を見渡して、施設が有効に活用されるように、配置のあり方を検討します。

地域に設置されている個々の施設を「点」で見るのではなく、地域全体を「面的」に見て、類似の施設や機能がある場合は、その内容などを点検し、施設が有効に使われるように見直します。

機能やサービスを維持しながら、施設の量をスリムにしようとしているんだね。どうやってやるんだろう？

原則4

民間のノウハウを最大限に活用します。

施設の整備や管理運営、余剰スペースの活用など、民間と協力することで、サービスが向上したり、経費を節約できる場合があるため、民間活用を積極的に進めます。





具体的には、どんなことをしていくの？

Step 1 個々の施設を、いろいろな角度から客観的に分析します（施設評価）。

必要性（目的）

- ・ 目的どおりに使われているか
- ・ 市が行うべきサービスか
- ・ 現在の建物でなければできないか

安全性（建物）

- ・ 耐震性
- ・ 老朽化
- ・ 災害警戒区域等の該当

有効性（利用状況）

- ・ 稼働率（利用率）
- ・ 特定の人や団体が独占していないか
- ・ 建物に他の機能を追加できるか

効率性（経費）

- ・ 管理運営に民間の参入が可能か
- ・ 維持費を節約できるか
- ・ 利用者の負担割合は適切か

まずは客観的な情報を集めて、状況を整理するんだね。

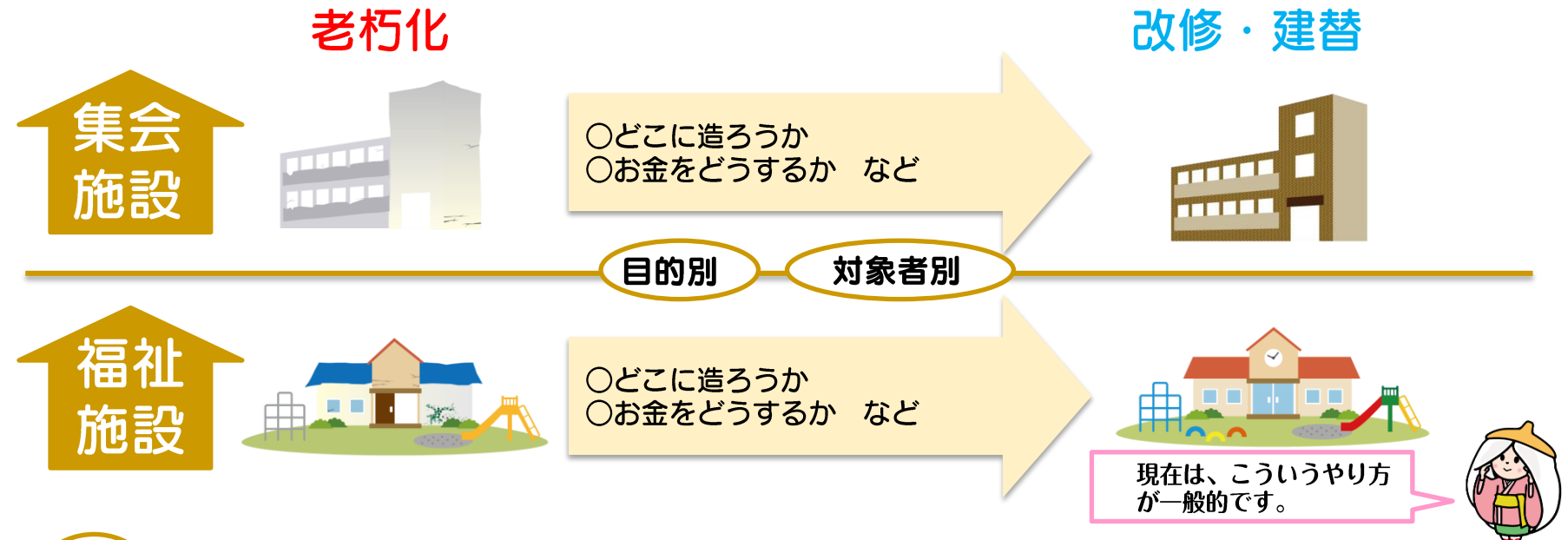
+ 特殊事情（法令、地域性ほか）



Step 2

現行の枠組みに固執せず、柔軟な発想で今後の方向性を考えます。

従来の方法（例）



これまで

これまでは、集会施設や福祉施設を建設するとき、目的別、対象者別に、それぞれの施設を整備してきました。その結果、市民の皆さんが集まれる施設はたくさん設置されてきましたが、その利用状況は必ずしも良くありません。

これから

建設から数十年が経過し、老朽化によって建替等が必要な場合は、これまでどおり別々に施設を整備するのではなく、1つの建物に、集会施設と福祉施設を併せて整備することで、施設を有効に使うことができます。

①新たな手法（例）～民間企業や国・県との連携（PPP）

イメージ

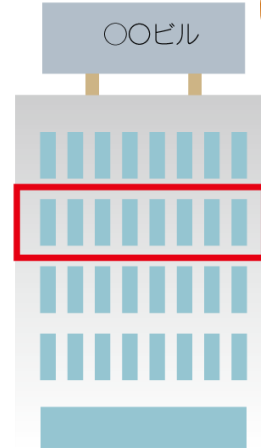
民間などの
空き部屋を
活用

この建物もそろそろ
建て替えないといけ
ないわね。
でも、いつまで必要
かなあ・・・

民間などの施設を借上げて 公共施設を整備

こんなメリットも！
管理業務も民間に任せることが可能！

必要かわからない
施設をずっと抱え込
んでいく心配がなく
て良かったわ。



民間施設等
との合築

民間施設



民間のメリット
誘客効果、コスト削減
業務開拓（市の委託）

公共施設 （官民複合施設）



メリット

- 公共施設の量を削減
- コストの削減（建設・運営等）
- 色々な機能が集まって利便性が向上
- 民間のノウハウでサービス向上

②新たな手法（例）～情報通信技術（ICT）などを活用して、コンパクトな公共施設の整備

ICTなどの活用によって、いろいろな行政サービスを受けられる場合があります。これにより、公共施設を直接訪れる必要性が低くなると、コンパクトな施設整備が可能になります。

図書館



電子図書館、移動図書館、
コンビニ等で貸出・返却

いつでも利用できる。移動が短くなる。

市役所 （窓口）



コンビニで証明書の受取
（住民票の写し、印鑑証明書ほか）

役所に行く手間が省ける。
利用できる時間が長い。

病院



遠隔診療
（テレビ電話で医師と患者がつながる）

自宅にしながら（または近距離で）受診できる。

公共施設を直接
訪れなくても、
用事がすむ場合
があるんだね。



③新たな手法（例）～複合化（機能の合体）

複合化のイメージ

老朽化



児童館

機能の複合化

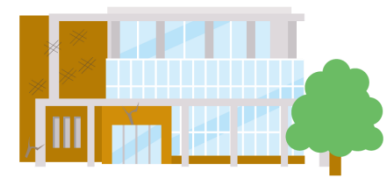
空き教室あり



小学校

機能の複合化

老朽化



コミュニティセンター

空いた土地や建物は
貸出・売却・解体など



放課後はそのまま児童館で遊べる！

子どもたちと
触れ合う機会
ができたね。

防犯効果で
親も安心ね。



改修

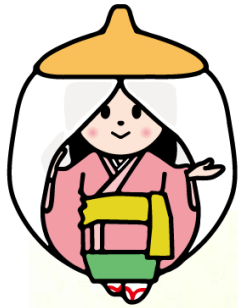


小学校+児童館+コミュニティセンター

複合施設

メリット

- 学校を地域づくりの拠点とすることで、コミュニティが活性化（H30～コミュニティスクールの導入）
- 公共施設の量を削減（財政負担の軽減）
- 世代間交流の促進
- 色々な機能が集まって利便性が向上
- 見守りによる児童の防犯効果
- 学校は知名度が高く、アクセス環境がよい



参考 学校に他の機能を複合化した事例 ~文部科学省資料より

子供と地域を元気にする 余裕教室の活用 ~ 余裕教室の活用事例 ~



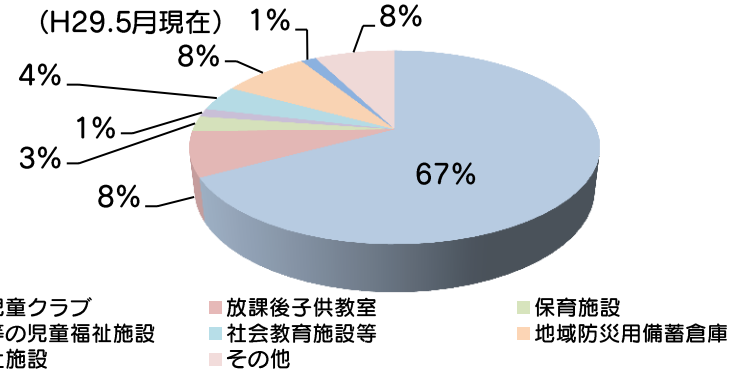
文部科学省大臣官房文教施設企画部 施設助成課



複合化事例は、全国で10,567校。これは、公立小中学校数全体の35%を占める。(H26.5月現在)

No	複合化した機能	自治体名(例)	学校名(例)
1	幼稚園	静岡県富士市	富士川第一小学校
2	公民館	鹿児島県始良市	加治木小学校
3	コミュニティ施設(事務局)	福岡県須恵町	須恵第三小学校
4	室内相撲場	石川県七尾市	能登島小学校
5	文化施設	山口県周南市	岐山小学校
6	保育所	宮城県松島町	松島第二小学校
7	放課後児童クラブ	東京都品川区	中延小学校
8	放課後児童クラブ	長野県塩尻市	片丘小学校
9	放課後児童クラブ	青森県青森市	浦町小学校
10	放課後児童クラブ 高齢者福祉施設	茨城県龍ヶ崎市	松葉小学校
11	放課後児童クラブ 保育園、村民体育館	秋田県東成瀬村	東成瀬小学校

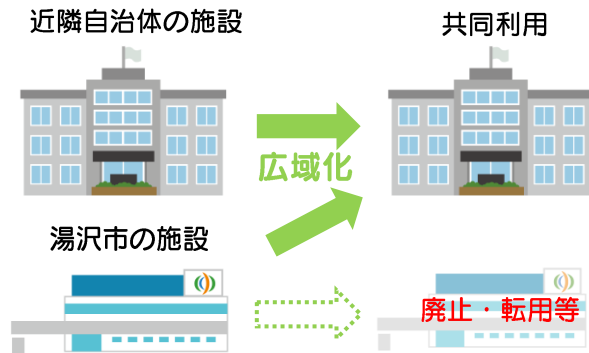
余裕教室を他の用途に活用している事例は、全国で3,204室。(H29.5月現在)



④そのほかの手法（例）～広域化、用途変更、統廃合

広域化

近くの自治体と連携して、地域外の住民も同じ料金で利用できるようにしたり、広域的に共同設置すること



<不便や不安の軽減>

施設の数が減ることで距離が遠くなるなど、不便や不安を感じる場合があります。

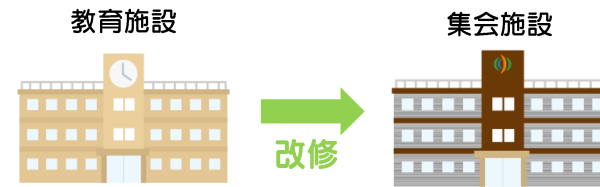
そのため、例えば施設以外のソフト事業を充実させたり、公共交通を利用しやすい環境づくりを行うなど、対応策を検討します。



色々な手法があるね。どの手法が最適か考えることが大事だね。

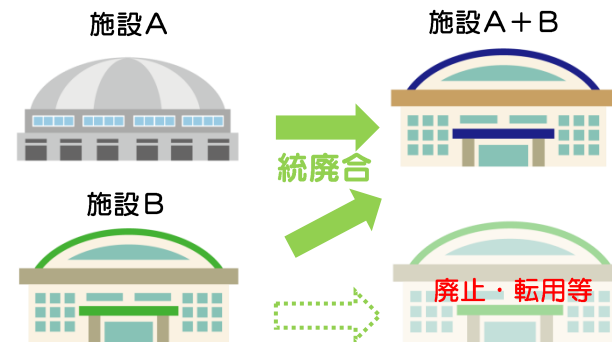
用途変更

不要になった施設を別の目的（用途）に変更して使用すること



統廃合

同じ機能の施設を、利用状況や今後の見通しなどを考えて統合すること



Step3

市民の皆さんの声を伺いながら、具体的な再編計画を作ります。

様々な立場や世代、地域の方々の意見を伺います。



集会施設やスポーツ施設を一度も利用したことがない市民が4割います。

(H28 公共施設に関するアンケート調査)

集会施設の維持管理にかかっている経費のうち、利用者の負担は1割未満です。

(H29 施設評価結果)



施設の利用者はもちろんのこと、利用しない方々の意見もバランスよく伺います。

おおまかな流れ

平成29年度

評価・分析

目的、利用状況、経過年数、コストなどを調査

平成30年度

検討

市民意見交換会、若者・女性が輝くまちづくり協議会、アンケート、市民討議会、外部検討委員会 ほか

立案 (中間案)

公共施設再編計画（中間案）の公表

平成31年度

見直し

意見交換会、パブリックコメントなどを通して計画を見直し

策定

公共施設再編計画の策定・公表

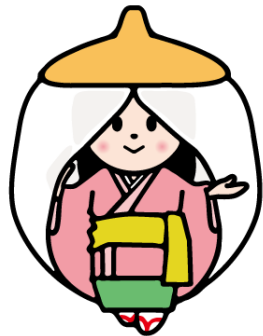
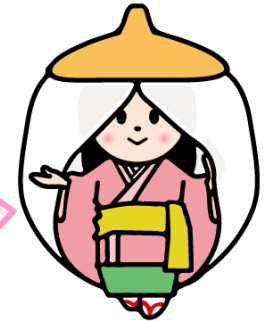
※検討状況等により、今後変更する場合があります。



公共施設の再編って何だろう？



再編計画は、「施設を減らすこと」そのものが目的ではなく、「施設」と「機能」を分けて考え、**市民の**皆さんが必要とする公共サービスを維持・向上させることで、一人ひとりの**満足度を高めるための実行計画**です。



公共施設の再編を、新しいまちづくりの機会ととらえ、これからの時代に合った**「新たな公共空間のあり方」**を市民の皆さんと協働で考えていきます。



もう一度お聞きになりたい方、詳しく知りたい方は、「出前講座」にお申し込みください。

※講座1回につき、おおむね10人以上の参集をお願いします。



湯沢市 総務部 企画課

電話：0183-73-2113（企画課直通）

Mail：kikaku@city.yuzawa.lg.jp

〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1-1

FAX：0183-73-2117

湯沢市公共施設

検索 